

# 新幹線プレス

2017年7月4日 No.353

発行者 成田 隆 浩

編集者 教 宣 部

J R 東海労新幹線地本

## 未来を展望した組織の発展を勝ち取ろう！

# 新幹線地本第23回定期大会開催！

7月2日、目黒さつきビルにおいて77名の組合員・OBの参加のもと、新幹線地本第23回定期大会を開催しました。大会は、議長団に吉田代議員（東一運分会）・板倉代議員（東京車両所分会）を選出。成田委員長は挨拶で「昨年の年末手当においてカット者ゼロを勝ち取ったことは、JR東海労4地本が連携し法廷闘争と職場での闘いを結合させた闘いの成果である。しかし、今夏季手当ではまたぞろ東一運分会の仲間1名が不当なカットをされた。私たちの闘いの成果に対するまさに報復的な攻撃であり、許すことなくこれまで以上の闘いを展開していく。さらに職場では大きな課題が山積している。年休問題をはじめ、検査体制の見直し、車内業務の見直しなど様々な効率化が進められ、私たち本体のみならず関連会社にも波及している。不満を持つ仲間たちと共に闘うために問題点を訴えていく。5年先、10年先を見据えながら、現職・OB一体となって、組織の発展と闘う連帯の環を広げていこう」と提起しました。



質疑に入り代議員からは「小林委員長・木下書記長の専従を支援、共に奮闘する」「車内業務見直しによる労働強化に反対する」「年休取得に向けて闘おう」など力強い発言が続きました。これを受けて杉沢書記長は「今年度より本部小林委員長と木下書記長2名専従体制となった。両名を全面的に支援、共に闘っていく。安全問題において、重大な事象が表れている。特に車内業務見直しは安全を置き去りにした偽装請負そのものだ。安全問題を中心に統一

行動を計画していく」と答弁し、向こう一年の方針を満場一致で確認しました。

なお、今年度においては執行体制の変更はありません。